

令和4年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	17	議席 番号	22	氏名	松 永 孝 男 議 員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	市制施行80周年を迎え富士宮市の「輝く未来」を作るための教育について			<p>5年前、市制施行75周年記念事業として、富士宮市の将来を表す一文字を市民の皆様から募集して、「輝」と言う文字を清水寺の森清範貫主に揮毫していただいた。この文字は今も市役所の市民ホールの壁に掲示されている。「輝く富士宮の将来」は市民の願いであり、目標でもある。私たち現役世代には「輝く富士宮」を作っていく義務がある。</p> <p>私は、将来を構築するひとつの柱は教育であると考えている。教育基本法によると、義務教育は「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるもの」とされているが、基本的資質の育成について伺う。</p> <p>(1) 社会人としての規範意識、公正な判断力の育成方法を伺う。</p> <p>(2) 校則の改廃及び新設の方法を伺う。</p> <p>(3) 「稼ぐ力・経済力」の育成方法を伺う。</p> <p>(4) リーダーシップの育成方法を伺う。</p> <p>(5) 成功体験及び失敗体験の生かし方を伺う。</p> <p>(6) 教育長は義務教育で最も大切なものは何だと考えているか。</p>		市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	市制施行80周年を迎え富士宮市の「輝く未来」を作るための雇用について			<p>私は、将来を構築するもうひとつの柱は雇用であると考えている。長引くコロナ禍で、人々の生活様式や就業形態は大きく変化しつつある。首都圏から近く自然豊かな富士宮市にとって「ピンチをチャンスに」と捉える好機だと考えるが、チャンスを生かす戦略を伺う。</p> <p>(1) ウィズコロナの社会で、市が目指す新しい雇用創出戦略を伺う。</p> <p>(2) 新しい工業団地の構想を伺う。</p> <p>(3) 職住近接と在宅就業の促進のため、既存の工業団地の近くに居住区エリアの設置を検討できないか。</p> <p>(4) 市長は富士宮市で生まれて育った子どもたちの約半数が、都会の学校に行ったまま帰ってこない現実をどのように捉えているか。</p>		市 長 教 育 長 関 係 部 長